

(他参加者 日光市立東中学校 斎藤 修、高野貴亜紀、小林中学校 石川 克彦)

1. 研修会参加の目的

- (1) ~ (5) の懸念材料を払拭できる新たな修学旅行先の開拓へのヒントを得るため。
- (1) 本地区（上都賀地区）では、小中学校の統廃合計画が遅れており極小規模校や小規模校が多いことから、修学旅行の負担額が大きい。（京都奈良大阪方面：8万円前半～9万円前半＊小遣い別途）
- (2) 5月、6月の関西方面旅行での、熱中症への危惧
- (3) インバウンドの増加、オーバーツーリズムによる問題で、事前計画通りの遂行の難しさ
- (4) タクシードライバーの確保+貸し切りバスの確保の困難さ
- (5) 修学旅行集合時間、解散時間問題（朝早く、夜遅い：例 朝5時台～6時台、夕19時台）

2. 現地研修会の実際

(1) 視察行程表

日	月/日	行 程	宿泊・食事
1	7/25 (木)	<p>★各地より出発 やまびこ 125号</p> <p>はやぶさ7号 宇都宮駅 8:29 発→仙台駅 9:38 着より乗継</p> <p>東京駅 8:18 発 大宮駅 8:42 発 仙台駅 9:50 発 新青森駅 11:16 着/11:30</p> <p>【昼食】【視察】 【視察】 【視察】</p> <p>青森県観光物産館アスパム ねぶたの家ワ・ラッセ 立佞武多の館</p> <p>12:20/13:30 13:35/14:25 15:15/16:00</p> <p>【意見交換会】 【チェックイン】 【夕食】 【宿泊】</p> <p>中央公民館岩木館 ホテル・・・(徒歩1分)・・・和食さわや・・・ホテル</p> <p>17:00/18:00 18:15 19:00～</p>	<p>宿泊ホテル</p> <p>ドーミーイン弘前</p> <p>■シングルルーム</p> <p>■朝食 6:30～</p> <p>■大浴場あり</p> <p>TEL0172-37-5489</p> <p>朝食：×</p> <p>昼食：青森市</p> <p>夕食：弘前市</p>

*本地区で実際修学旅行として採用すると、現ダイヤでは宇都宮駅8:29となる。

*目的地到着も、関西方面12時台が、新青森11:16となる。(関西方面であると、新幹線発着の東京駅までの新幹線代(東武線スペース代)または、バス代が加算される。)

これらのことは、目的の(1)と(5)に関わる。

ねぶたの家(青森市:企業がスポンサー)



青森港（アスパム近く）から北海道を臨む

立佞武多（ビル4階位の高さ）五所川原市がスポンサー



*海なし県民としては、このような光景に
心惹かれる。ねぶたは、大きく3種類
立佞武多は、奈良の大仏のように大きい。

2	7/26 (金)	【視察】	【視察】	【昼食】	宿泊ホテル ユニソインエクスプレッス函館駅前 ■シングルルーム ■朝食 7:00~ ■大浴場なし TEL: 0138-24-3811 朝食: ホテル 昼食: 黒石市 夕食: ×	
		弘前市内====津軽藩ねぶた村====グリーンファーム農家蔵====蔵よし====				
		8:50 発	9:00/10:00	10:30/11:30		11:45/12:20
		【視察】	はやぶさ 19号	【視察】		
	====三内丸山遺跡====新青森駅====新函館北斗駅====五稜郭タワー====					
	12:35/13:20	13:35/13:59 発	15:01 着/15:15	15:45/16:45		
	【視察/片道乗車】	【夕食】	【宿泊】			
	====函館山ロープウェイ====函館ピヤホール.....ホテル					
	17:00/18:00	18:30~				



弘前市のねぶたは、各自治体をスポンサーとしている



津軽三味線の体験やねぶた作り等が可能
青森での見学には、どうしてもバス移動
は必要となる（トータル約50分程度）
三内丸山遺跡は、縄文時代の出土で世界
遺産に指定されている。
青森から函館までは、海中トンネルを抜
けての新幹線移動。



約1時間で北海道の地。五稜郭タワーは
幕末の学びが得られる。

3	7/27 (土)	【カヌー体験】	【視察】	ノ民・ハ
		函館市内====函館アドベンチャーツアー====函館市街元町散策==== 8:00 発 8:30/11:00 11:45/12:45		
		【視察】【昼食】	はやぶさ 34号	
		====道の駅なないろ・ななえ====新函館北斗==== 13:15/14:20 14:30/14:48 着		
		【乗機】やまびこ 154号		
		仙台 17:43 発⇒宇都宮駅 18:57 着		
		====仙台駅====大宮駅====東京駅		
		17:29 着 18:39 着 19:04 着		
※行程内容は交通事情や導入生直値に上り変更されることがある場合があります。				
				朝食：ホテル 昼食：七飯町 夕食：×

函館市街元町散策は、通常であれば路面電車（中学生ならば、1日800円で乗り放題）を利用しての班別研修が可能である。函館の主要な見学場所は、この路面電車上にある。（コンパクトcityと言われている。）

*カヌー体験もさせていただいたが、着替えの面での場所の確保や時間を要することに加え、カヌーは天候に大きく左右されることが懸念材料となった。

(3) まとめ

- ・費用面では、6万円台～7万円台前半で可能とのこと。
- ・北海道・青森は、熱中症を心配することなく過ごせる。
- ・オーバーツーリズムとまでは、現状ではなっておらずじっくり見たり聞いたりしての見学が可能である。
- ・タクシーを手配する心配はない。路面電車でのグループ班別研修が可能である。函館山の夜景を盛り込むとやはり、天候に左右されてまったく見られない可能性がある一方で、昼間に湾の形の美しさを見学するだけでも良いかと思う。
- ・ホテルも函館駅前に、手頃な料金で泊まれる。（一泊1食付）または、湯の川温泉（路面電車の最終駅降りてすぐ）ならば、一泊2食付で泊まれる。（6,000円台/一泊）
- ・600名程度の団体が集まれば、宇都宮駅に新幹線が停車して青森まで乗り換えが不要ではあるが、現在の所は確約は難しい。
- ・見学先の拝観料金等は、中学生無料や500円未満の所が多く、財布に優しい。
- ・現地到着時間が、昼食前であることから、新幹線内での弁当を食する必要がない。帰りの行程も工夫すれば18時前に学校到着が可能である。
- ・体験活動も充実していることから、関西方面で体験できることに引けをとらない。
- ・コロナ禍の時に、沖縄方面から関西方面に修学旅行先を変更した高校が多いことから、中学は北海道青森、高校は関西というスタイルもよいかと考えられるきっかけとなった。